

環境保全の取り組み

環境に優しい製品を作り出すことだけでなく、開発・設計から生産工程・流通に至るまでのサプライチェーン全体にわたって環境負荷の低減をはかることこそが「クリーンなものづくり」であると考えています。

継続的な省エネルギーへの取り組み

本社における旧式天井照明器具のLED化や、通期でのエアコンの設定温度管理の徹底、全社的な電気式給湯利用の制限などにより、全社的な省エネルギー対策を計画的に継続しています。

また、電力使用量が増加する夏期の電気使用状況については、社内イントラネットや工場内に掲示することで、節電意識の向上に努めています。



計画的な照明器具のLED化
(本社)



電気式給湯器の時間管理
(高雄マブチ)

生産設備の設計・導入時における環境対応

マブチグループでは、すべての生産拠点において、生産設備の導入の際には、以下の項目について多面的な環境影響評価を行い、生産設備機器の導入計画を立案しています。

1. 使用禁止物質の有無
2. 電力・エアール・用水等の使用量
3. 燃料消費量
4. 大気汚染物質・オゾン層破壊物質・汚水の排出量
5. 振動・騒音水準
6. 労働安全衛生法が適用される廃棄物・有害物質の排出量
7. 設備廃棄時における有害物質漏出の可能性有無
8. 有害物質回収の指示・説明の有無

これらの検証を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

海外生産拠点における自然エネルギー利用

中国の道ジャオマブチ、東莞マブチにおいては、太陽光発電システムにより年間約60万kWhの電力を発電し、拠点内で使用しています。自然エネルギー利用により、地球温暖化ガスである二酸化炭素（CO₂）排出の削減に取り組んでいます。



屋上に設置された太陽光発電パネル

環境関連指令への対応

私たちの製品であるモーターの生産においては、各種環境関連指令への対応に加え、当社独自の規程順守を徹底することで環境保全にグループ全体で取り組み、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、環境事故は一度も発生しておりません。

環境の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1997年	環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2006年	海外生産拠点で「グリーン調達説明会」を開催
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定	2008年	「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更（社会的な取り組みについても掲載）
1999年	ISO14001の認証取得	2012年	環境基本方針を「マブチグループ環境方針」に改訂
2000年	グリーン調達活動開始。モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了	2015年	環境に配慮した新工場「メキシコマブチ」を竣工
2001年	「環境報告書」の発行を開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了	2018年	環境に配慮した新工場「ポーランドマブチ」を竣工
2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始	2018年	「メキシコマブチ」にて、ISO14001の認証取得
		2018年	欧州RoHS指令の10物質保証開始
		2019年	弊社ホームページにESG情報をリニューアル公開